

# 探究学習×英語×SDGs

実施校:新潟青陵高等学校 教諭名: 石塚和洋

対象	1学年	単元名
科目	総合的な探究の時間、コミュニケーション英語	目標
参考資料	コミュニケーション英語教科書 アイディアブックなど	(1)プラスティックごみについて、SDGsの観点から考えること (2)探究学習(SDGs)と教科の連動を意識し、今社会に求められていることを考えさせるために自分の頭で考えたり、他者の意見を聞いたりして、自身の考えを明確にもつこと (3)江戸時代の循環型社会に関する英文を通して、現代と比較したり、個人でできることやすぐにできることなどを考えること
期待できる学習効果		今後の探究学習や日常生活で、持続可能な社会を創るために行動する

## 授業内容

(2年間かけての取り組みです)

5月:(1) 新潟県の課題「人口減少と少子高齢化」について講演を聴く。その後グループワークで探究する。  
(以降、2月まで継続実施)

(2) SDGsの概要を説明。テーマ:「自分事として捉えてみよう」

7月:「スポーツゴミ拾い」に参加。新潟市内の海岸清掃でSDGsの必要性を体感する。SDGsアイディアbookを参考に、スポーツゴミ拾いはどのゴールに関連するかを考える。

9月: 1週間に2つずつ、アイディアブックのゴールをワークシートに要約する。ゴールのポイントやキーワード、アイディアをまとめてSDGsの理解を深める。2ヶ月継続し生徒それぞれが関心を示す分野が分かってきた。

11月: SDGsカードゲームを実施。SDGsがより深く理解できたと感じています。

1月: 英語の教科書で江戸時代の持続可能な社会についての英文を読み、現代との違い、相似点、個人でできること、リサイクル産業についてグループワークをした。

現在の日本のプラスティックゴミに関して、東南アジアに輸出されているニュースを見て、身近な行動をするにはどういうことを意識すればよいかを考えた。また、9月に比べ、それぞれのゴールが連動していく、一つの課題がいくつのゴールと関連していることに気づく生徒が増えた。

江戸時代のことを参考に、英語でアウトプットをし、他者の意見を聞き、自分の考えを再構築した。

2月:新潟県の課題について、SDGsとの関連性を考える。(持続可能な街作り)

生徒側から、ユニクロ「届けよう、服のチカラプロジェクト」に参加したいとの提案があり、コース全体で実施することになった。(6月から実施だが、校内では2月21日にスタート)

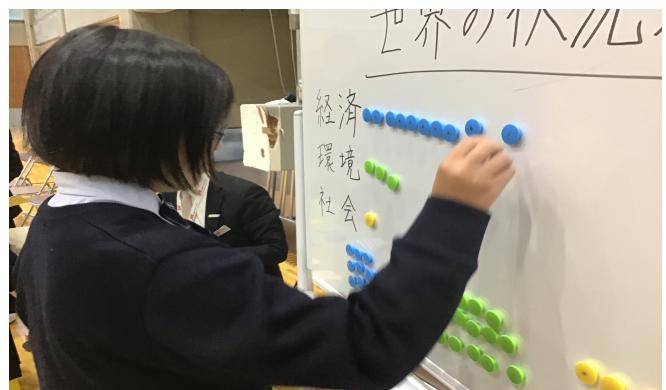
3月:発表と続く。

2年次:シンガポール修学旅行で「水」について関連させた取り組みを行う。

# 探究学習 × 英語 × SDGs

実施校:新潟青陵高等学校 教諭名:石塚和洋

## 授業の様子



## 子どもたちの反応・感想 / 指導して感じること

添削前の英文です。また、生徒たちからユニクロさんのリサイクル活動に参加したいという提案があったことが大きな喜びです。ねらいとしていた、「個人でできることやすぐにできることなどを考える」「今後の探究学習や日常生活で、持続可能な社会を創るために行動する」ことが芽生えてきたと感じています。来年度も継続して国際理解、SDGsなどの理解を深める取り組みを継続していきます。

6  
江戸時代の社会も参考にして、どのようなことに気をつけると持続可能な社会につながると思うか。  
We must respect modesty and hate to waste things, because everything is a valuable resource.  
So I want to do recycle, for example clothes and paper. If many people change their heart, we can achieve a sustainable society.

江戸時代の社会も参考にして、どのようなことに気をつけると持続可能な社会につながると思うか。  
I think it is important for us to respect modesty and hate to waste things. Because, in a society of mass production and mass consumption, We have to carry out the recycling - based society. So,

ask6  
江戸時代の社会も参考にして、どのようなことに気をつけると持続可能な社会につながると思うか。  
I think that people needed to recycle what they had. Not only in Japan but also in other parts of the world, 3R's is important.